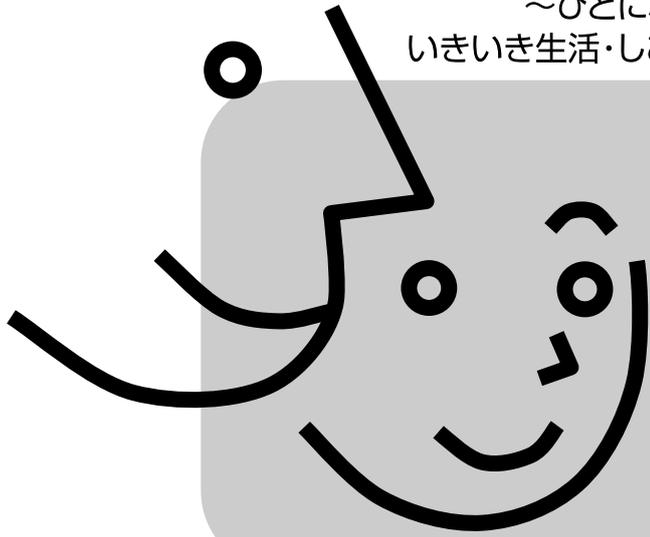


～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



教育

はむらの



3月25日にオープンする生涯学習センター「ゆとろぎ」

市民が主役！3月25日開館

羽村市生涯学習センター「ゆとろぎ」



大きな円筒のガラス窓、傾斜した屋上、凹凸の多いユニークな外観…。新しい生涯学習センター「ゆとろぎ」が、いよいよ3月25日にオープンします。
「ゆとろぎ」は、文化・芸術及びコミュニティの振興のために、子どもから高齢者

まで多くの人が集まり、生涯を通じて「学び・楽しむ・交流する」賑わいの場を目指します。

3階にかかる「交流の橋」によって図書館と結ばれ、市民の自主・自立的な活動が一層促進され、生涯学習活動の拠点となります。

「ゆとろぎ」が生まれるまで

生涯学習センターゆとろぎと図書館を含む生涯学習施設全体の基本構想は、平成9年7月に策定されました。

この決定にあたっては、市民に呼びかけ設立された「市民会議」や公民館運営審議会などさまざまな皆さんからご意見をいただきました。そして、同じ年の8月には、「生涯学習施設(仮称)基本計画」がまとめられました。

この計画に沿った設計競争を行った結果、最優秀だったものが現在の生涯学習センター(図書館部分を含む)の原型です。

平成13年に図書館がオープンしましたが、その後、財政状況を見極めるため予定より2カ年遅れて着工し、昨年10月に施設が完成しました。



市民が描いたウォールペイント

「ゆとろぎ」とは どういう意味？

多くの人がゆったりとした穏やかな時間(ゆとり)とくつろげる空間(くつろぎ)の中で思い思いの生涯学習ができるという意味が込められた造語です。

この愛称は、全国から1743点の応募をいただいた中から選定されました。

「ゆとろぎ」の特徴は？

この施設は、公民館通りに面した部分ガラス張りになっていて、明るく開放的なのが特徴です。そうすることで、内部での活動が外から見え、訪れた人の興味をかきたてる効果があります。
また、降った雨水を貯水し、植木に散水するシステムを導入するとともに、市



民の環境学習に利用する太陽光発電システムを取り入れています。

施設を運営していくうえでも大きな特徴があります。それは、市民と行政、また、市民同士の「協働」による事業の企画・運営を基本に置いていることです。ホールでのコンサートやギャラリーでの展示会、各種の講座、また情報誌の発行など、市民の皆さんに参加していただき、企画し運営していきます。すでに、来年度の事業の準備が着々と進んでいます。

ゆとろぎの施設運営については、平成



16年7月から平成17年3月に開催した「羽村市生涯学習施設(仮称)西棟管理運営に関する懇話会」で10回にわたって検討された提言をもとに、運営方針を定めました。

市民の皆さんに直接、企画運営に関わっていただくことで、ニーズや希望を的確に捉えることができます。また、自分たちで運営していくことで「私たちの施設」という気持ちが育まれ、さらに活発な活動に結びつくと考えています。



856席の大ホール

どんな施設があるの？

ゆとろぎには、856席の大ホール、252席の小ホール、リハーサル室、音楽練習室、作品展など展示のできるギャラリー、様々な創作活動に使える創作室、学習室、祝賀会などのパーティーに使えるレセプションホール、茶会も開ける和室などの施設があります。



252席の小ホール

「協働」って、今は どんなことをやっているの？

現在、ゆとろぎでは様々な準備が急ピッチで進められています。その中で、市民の皆さんが活躍しているのが18年度の事業の準備です。市民と行政、また市民同士の「協働」をキーワードに掲げているゆとろぎでは、事業の企画・運営にも市民の皆さんが積極的に参加しています。具体的には活動しているのは、事業を企画運営する「事業スタッフ」と、ゆとろぎの運営をサポートしていく「サポート組織」の方々です。

事業スタッフ

● 芸術鑑賞スタッフは現在13名。主に大小ホールでのコンサートや演劇などの催しを検討しています。スタッフの趣味や経験を生かしながら、コンサートや演劇など、市民の皆さんにどんないいものを提供していきたいか、子ども

「ゆとろぎ」のマークにはどんな意味が？

羽村市の「羽」をモチーフに、「ゆとろぎ」の頭文字「Y」の形をデザインしたものです。また、ゆるやかな曲線がゆとりやくつろぎを象徴し、「くるくる」回転する線が気軽に「来る」ことができる施設をイメージしています。157点の応募作の中から選ばれた作品です。



ゆとろぎ

もにはこんなものはどうか、大人はどんなものが楽しめるだろうか…と、夢を見つつ現実とすり合わせながら、考えています。

● 学習文化スタッフ10名は、趣味や教養を高める講座などを企画しています。将来は、受講者が資質を高めて講師となり、発展させていきたいと考えています。

● ギャラリー運営スタッフは7名。羽村が生んだ日本を代表する芸術家の作品をはじめ、いろいろな種類の作品を、皆さんに紹介したいと考えています。図書館と協力したり、ホールでの催しと関連づけた展示にしたり…。いつも興味深いものを展示している、と皆さんが思えるスペースにしたいと考えています。

● 情報発信スタッフ6名は、ゆとろぎでの催しの情報などをいかに市民の皆さんに伝えるか、ホームページの運営や情報誌の発行などを計画しています。



打ち合わせ風景

市民の皆さんが「楽しく学べそう」「自分も講師として…」と思えるような、センスのいい情報を提供していきたいと考えています。

どの事業スタッフも、自分の持味や興味を生かし、かつ、利用者である市民にとってどのような事業にしていくなかを常に念頭において、事業を考えたいです。

サポート組織

ゆとろぎの運営を支援していただく有償ボランティアの皆さんです。現

「ゆとろぎ」事業スタッフとは

ゆとろぎの事業を

1. 芸術鑑賞スタッフ
2. 学習文化スタッフ
3. ギャラリー運営スタッフ
4. 情報発信スタッフ

以上の4部門で企画・運営を行っています。

「ゆとろぎ」事業スタッフ

募集!

現在、事業の準備を進めている事業スタッフですが、多くの方々のご意見やアイデアが必要です。市民の皆さんの希望や意見を多く反映させるためにも、スタッフを常時募集しています。興味をお持ちになった方はぜひお気軽にご参加ください。また、「こんな事業をしてほしい」「こんな企画はどうか」などのご意見やご希望がありましたら、お気軽に、ご連絡ください。《問合せ／生涯学習課生涯学習係》

在は「レセプションニスト」「舞台操作チーム」「保育サポート」の3組織が準備を進めています。

●レセプションニストは、ホールでの催しの時にチケットを切ったり、お客様のご案内をするボランティアです。現在38名が研修を修了し、お客様に「来てよかった」と感じていただける質の高いサービスを目指して準備しています。

●舞台操作サポートチームは6名。小ホールでの照明や音響の操作を行なうボランティアです。まずは設備を理解していくことから始めています。いずれは、小ホールでの市民の催しで力を発揮する予定です。

●保育サポートでは、小さなお子さんのいる皆さんに、どのような形でサービスを提供していくのか検討しています。現在メンバーは5名。これから保育室の遊具なども検討していく予定です。

「ゆとろぎ」 開館祝賀祭

開館を一緒に祝いましょう!

開催日程

3/25~4/9

〈ゴールデンウィーク開催〉

5/3~5/7

《催し紹介》

- ★ 開館記念講演会(文化庁長官河合隼雄氏)
- ★ 開館記念コンサート
(羽村市出身のピアニスト 江尻南美氏・
羽村市出身のバイオリニスト 福島慶大氏)
- ★ みんなで演奏、みんなで歌おう!
- ★ 春 若人と邦楽の集い
- ★ 小中学生演奏会
- ★ 市民ミュージカル「ムーンライトカーニバル」
- ★ はむら演劇祭
- ★ ジャズコンサート
- ★ ヒップホップダンスコンテスト
- ★ ニット作家・広瀬光治 トーク&レッスン
- ★ 羽村市在住の漆芸家 並木恒延 作品展
- ★ 1万人のはがき絵展
- ★ 市民作品展・オブジェ写真展
- ★ 体験教室
- ★ はむら郷土展
- ★ 二人寄席(桂歌丸・三遊亭楽太郎)
- ★ 町内会選抜カラオケのど自慢大会

などの催しが準備されています。また、5月のゴールデンウィーク中にも、音楽祭や舞踊の発表などが予定されています。詳しいことは、あらためてお知らせいたします。



イメージ写真



イメージ写真